



## 1 連携で有為な人材育成へ



調印後の記念写真



調印式前の打ち合わせ

本校への  
長年の入学実績を踏  
まえ、有為なIT人材  
育成のために、本校  
と県立太田第一高等  
学校との連携調印式  
が同校会議室で1月  
22日（木）に開催  
されました。

県立太田第一高等  
学校の谷津勉校長か  
らは「探求を軸とし  
た創造的な学びの環  
境整備を進めており  
、この連携はとても  
有意義」と期待を膨  
らませていました。

酒井雄一学校長は  
「高大連携で、次代  
を担う有為なデジタル  
人材を共に育成し  
たい」と笑顔で話さ  
れていました。

4月から連携事業  
がスタートします。

## 3 記事トレ』紹介

本校では、IT専門力に加え社会人基礎力の向  
上のため『記事トレ』を実施しています。新聞  
を読み、要約とIT技術者としての感想を書くト  
レーニングを通して読み解く力を育成します。

### <記事トレ>茨城新聞（2025年12月23日） 発信活動ビジネス化

被災地から伝える(能登復興ハツアーも企画)

#### ●竹内 結さん(日本航高卒)

◇要約：加藤愛梨さんは災害復興において  
何かできることはないかと能登地震の被災  
地の情報発信を始めた。

信頼関係を築いたうえでSNS等で発信し  
ツアーや被災地での人材育成、学生のイン  
ターンを計画するなど貢献している。

◇感想：自ら災害や被災地に目を向けて行  
動に移そうとする行動力は見習うべきだと思  
った。

また、ただボランティアだけでなくそれ  
を継続できるようなビジネスにしている。  
人々の協力を求めることも大切だと思った。

#### ●大森鋼刃さん(太田一高卒)

◇感想：被災地からの発信をビジネス化す  
ることで、継続的に防災意識を広められる  
点が印象的だった。

善意だけに頼らず、仕組みとして成り立  
たせることが重要だと思った。被災者の思  
いを尊重し、伝え方には配慮が必要だと思  
った。

#### ●水地穂吏さん(常磐大高卒)

◇感想：実際に災害を経験した方々の話を  
聞くことはこれからの学生にとって貴重な  
経験だと考える。

被災地では何が起って、何が大変だっ  
たのかを聞くことで課題解決に向けた学び  
になる。防災という領域を発展させること  
ができると思う。

#### ●青山 優さん(水戸三高卒)

◇感想：被災地に出向くことは簡単ではな  
く、被災者に寄り添い、支援を促してもら  
えるような情報発信までやり遂げる加藤愛  
梨さんを、本当に尊敬する。

何事にも初めの一步が重要であり、実際  
に行動する大切さに気付かされた。

#### ●相田泰我さん(水戸商高卒)

◇感想：被災地の現状をYoutubeで発信し  
ビジネス化する視点到感銘を受けた。情報  
発信を収益化し持続可能にすることは重要  
だと感じる。プラットフォーム  
活用を通じ防災領域を発展させ  
る挑戦を私も学びたいと思った。

## 2 熱意伝わる企業説明会



IT企業研究会の様子

1月8日(木)・15日(木)、1年生を対象としたIT企業研究会(主  
催：茨城県情報サービス産業協会)が開催され、2日間で24社  
が参加しました。

企業からは、事業内容から福利厚生まで詳しく説明がありま  
した。学生からは「興味の持てる業務内容が多かった」「AIを  
用いた事業も増えているが、人を大切にする会社だと思った」  
「福利厚生もしっかりしており、社員同士の仲の良さが良く分  
かった」「説明者の熱意が伝わりました」との声がありました。

